

部局名	消防本部	所属名	消防総務課	所属長名	染谷 正博	電 話	459-7802
-----	------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3366		事務事業名称	消防団運営管理事業					短縮コード	経常	3366	臨時	3548
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	02	非常備消防費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法及び消防法（消防団活動費）， 八千代市消防団条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防団活動に係る事務 ・消防団発足時から。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
近年、消防団員のサラリーマン化が進み、また勤務先が市内ではないことから、入団してくる人材が集まりにくくなってきている。						大項目（節）	01	市民の安全					
						中 項 目	02	消防					
						小項目（施策）	02	消防体制の充実					
						細 項 目	05	消防団の活性化					
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市消防団							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ・消防団員の研修・教育訓練の実施							
	※平成22年度に計画していること： ・消防団員の研修・教育訓練の実施							
意図 （何を狙っているのか）	①消防団の活性化及び組織力の充実強化 ②専門知識及び技術取得による個人能力の向上							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	消防団員数	人	296	309	296	309	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の実施日数	日	3	3	3	3	
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練を実施した日数	日	33	33	33	33	
	指標 3							
成果指標	指標 1	千葉県消防学校等の研修・教育訓練の参加人数	人	1	1	1	1	
	指標 2	知識・技術向上に係る教育訓練に参加した団員数	人	995	1,080	1,099	1,215	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3366	事務事業名称	消防団運営管理事業				所属名	消防総務課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			引き続き、再任用職員を活用し消防団の充実強化に努める。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			消防団には、訓練・研修は不可欠です。 再任用職員を採用し、業務の一部を対応してもらうことで、成果及びコストは当面不変である。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
消防団は消防職員同様、訓練・研修が不可欠である。									

所属長コメント	地域の消防防災の中核である消防団は、社会経済情勢の変化を受けて、団員数の減少，サラリーマン団員の増加など対応すべき課題を抱えている。 消防団は、消火活動をはじめ、多数の要因を必要とする災害活動，また，大規模災害での救出活動や搜索活動，避難誘導などの面でも重要な役割を果たしており，身近な暮らしの安全確保を図っていく上で，大量動員が可能な消防団は，非常に大きな力として欠かせない組織であり，一層の充実強化を図っていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									